

# 児童生徒の落雷事故の防止対策について

栃木市教育委員会学校教育課

## 1. 基本的指針

児童生徒の屋外での活動中や下校に際して、落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中止させるとともに、落雷の危険性がなくなると判断されるまで安全な場所に避難させるなど、児童生徒の安全確保を最優先事項として常に配慮する。

## 2. 具体的な指導内容

### (1) 危険信号を早めにキャッチする。

入道雲は落雷の危険信号です。さらに黒い雷雲が近づくと多くの場合は突風が吹くとともに気温が下がり、やがて激しい雨になります。

しかし、突風や降雨より落雷が先に起こることがありますので、早めの避難が大切です。雷鳴は遠くに聞こえていても危険信号です。

### (2) すぐに安全な場所に避難する。

雷鳴が聞こえてくれば、雷雲はすでに危険な範囲にきています。すぐに安全な場所へ避難して下さい。校舎の中へ逃げ込むのが一番安全です。

広くて平らな校庭は危険な場所です。できるだけ姿勢を低くし、バットやラケットなどは体より高く突き出さないようにします。

樹木の下やトタン屋根の小屋の中は雷の被害を受ける危険があります。

### (3) 余裕を持って待機している。

雷雲が遠ざかって雷鳴が聞こえなくなっても、20分くらいはまだ落雷の危険があります。屋外での活動を再開したり下校するには、あわてずに安全な場所で待機していることが大切です。

## 3. 指導上の留意点

雷が近づく前に屋内に誘導、避難させることが、児童生徒を落雷の被害から守るための最も効果的な方法です。

雷は、雨が降り出す前に起こり始めることが多いので、雨が降っていないくても、遠くで雷が鳴り始めたら、屋外での活動を直ちに中止して屋内に避難させるとともに、あわてて下校させることなく、校舎内で待機させることが必要です。

なお、下校時刻が大幅に遅れるような場合には、家庭に連絡させるなどの配慮もお願いします。

